

足病変を持つ患者様に対する再発防止の取り組み ～パンフレットによる指導を通して～

東5病棟 佐藤悦子 川上寛子 宮本由佳 木村幸枝 磯谷美津代

Keyword: 足病変・パンフレット・指導・フットケア

【目的】

足への関心を持つことにより、足病変の再発防止と誘因の除去が出来る

【方法】

研究期間：平成17年11月1日～平成18年4月30日

研究対象：足病変で当科に入院した患者様

研究方法：1) 日常生活での足への関心度を知る為のアンケート調査

2) 1)の結果を元にパンフレットを作成

3) 退院後の患者様への聞き取り調査

【結果】

事前アンケートの結果分析で、患者様は足の異常に気付いても自己判断での処置を続けていたり、微小な異常を放置していたことが、再発へとつながる要因であるとわかった。

そこでパンフレットを作成し、足に対する日常生活への指導を行なった。

その結果足への関心を高める事が出来た。しかし、繰り返しの指導にも関わらず十分な理解が得られない症例もあった。

【考察】

足病変を抱える患者様の多くは再発を繰り返している。原疾患の複雑さと共に日常生活にひそむ危険因子についての認識が不足していた事が原因と思われた。退院指導段階での日常生活に基づいたパンフレットの指導は、足への関心を高めるための効果的な方法であった。

しかし、患者様の理解力や生活背景には、個人差があるため今後はより個別性を取り入れた指導の必要性が示唆された。